

平成 30 年 3 月 26 日

魚沼市教育委員会

教育長 梅 田 勝 様

魚沼市公立保育園民営化計画検討委員会

委員長 桑 原 郁 夫

魚沼市公立保育園民営化計画検討結果報告書について（報告）

このことについて、別添のとおり委員会における検討の結果を報告します。

## 魚沼市公立保育園民営化計画検討結果報告書

本委員会では、魚沼市教育委員会子ども課で作成した「公立保育園等の民営化にかかる基本的な考え方（検討中資料）」の内容について、これまで6回の委員会を開催し、審議を行ってきました。

魚沼市子育てビジョンでは、0歳から5歳の乳幼児期について、「人生の基礎を築く重要な時期です。家庭や地域と協力しながら、楽しくあたたかい雰囲気の中で、子どもの心理を尊重し、明るくのびのびとした子どもを育てることが大切です。自然や人と関わり、遊びや多様な体験を通して、気づき、思いやり、挑戦し、感性を磨きます。」とあります。また、魚沼市子ども・子育て支援事業計画では、幼児期の教育・保育の推進に関する体制について、「子どもの健やかな育ちを等しく保障し、『子ども、家庭、地域の力』を育て、子どもたちの生涯にわたる人格形成の基礎を培うため、幼児期における教育・保育の『環境』及び『質』の向上を図ります。」としています。

公立保育園民営化の検討においても、これらのことをふまえ、魚沼市の全ての子ども達の最善の利益を最優先に、本市での幼児期の教育・保育が、全ての子どもと保護者にとって安心で利便性の高いものとなるようお願い、ここにその検討結果を報告します。

公立保育園の民営化は、公立保育園と私立保育園のそれぞれの役割が果たされ、良質で持続的なサービスが提供できる体制を作っていくことを目的とすべきです。

市の行財政運営上では民営化のメリットがあることは理解できますが、それだけではなく、魚沼市内全体の幼児期の教育・保育の質が維持向上され、常に子どもの立場に立った保育環境の向上を図っていく必要があります。

また、市は効率化された財源を、教育・保育施設の充実や、地域型保育・ファミリーサポートセンター等の多様な子育て支援サービスに活用することが必要です。

審議を行う中で、「受け手がしっかりしていれば私立の方が柔軟なサービスを提供できる」という意見があった一方で、「民営化が市の財政を理由にしたものになっており、市民の理解を得るのは難しいのではないか」といった意見が出されるなど、委員会としての考えをまとめるには至りませんでした。検討の過程で民営化に向けての課題が明らかになっていったことが本委員会の成果だと考えます。

民営化する保育園の選定に係る審議にあっては、「規模が大きく人口減少が少

ない地域の園であれば民営化に適しているのではないか」、「地域によっては小学校区に一つしかない保育園の民営化は困難だろう」、「財政的には建替えの前に民営化した場合のメリットが大きい」等、複数の視点によって考え方も様々であり、本委員会において対象園を絞ることはしませんでした。今後、民営化する保育園を選定する際、あるいは移管先法人を募集する際の条件を検討する際には、更に十分な議論をつくす必要があるものと考えます。

魚沼市における幼児期の教育・保育がより充実し、継続的に、安心して利用できるようになることは、全ての子どもと保護者の願いであります。全ての児童の最善の利益のため、本報告書をもとに公立保育園の民営化に係る今後の議論が進められますことを希望します。

#### ■民営化を行う場合の留意すべき事項

- ・公立保育園の民営化は、保護者の理解を得ながら、不安を取り除くよう丁寧な説明に努めてください。
- ・民営化をとおして、魚沼で子育てをしたいと感じてもらえるようなものにしてください。
- ・民営化後も市がしっかりと保育に対する義務を果たし、保育の質の低下を招かないようチェック機能を果たしてください。
- ・民営化により、保護者に新たな経済的負担が生じないようにしてください。
- ・民営化により今働いている人の職を奪うのではなく、民営化により働いている人の待遇が良くなることを考えてください。また市内に雇用を創出することも考慮してください。

参考

魚沼市公立保育園民営化計画検討委員会  
委員会開催経過

日付	会議名	会場	出席者数
平成 29 年 10 月 18 日(水)	第 1 回魚沼市公立保育園民営化 計画検討委員会	魚沼市役所堀之内庁舎 201 会議室	5 人
平成 29 年 11 月 21 日(火)	第 2 回魚沼市公立保育園民営化 計画検討委員会	魚沼市役所堀之内庁舎 201 会議室	5 人
平成 29 年 12 月 19 日(火)	第 3 回魚沼市公立保育園民営化 計画検討委員会	魚沼市役所堀之内庁舎 201 会議室	4 人
平成 30 年 1 月 23 日(火)	第 4 回魚沼市公立保育園民営化 計画検討委員会	魚沼市役所堀之内庁舎 201 会議室	5 人
平成 30 年 2 月 21 日(水)	第 5 回魚沼市公立保育園民営化 計画検討委員会	魚沼市役所堀之内庁舎 201 会議室	4 人
平成 30 年 3 月 13 日(火)	第 6 回魚沼市公立保育園民営化 計画検討委員会	魚沼市役所堀之内庁舎 201 会議室	4 人

## 別紙

### 公立保育園等の民営化にかかる基本的な考え方（検討中資料）に対する意見

#### 1 民営化の効果について

- ・「基本的な考え方」に示された民営化のメリットは、財源的なものが多く、利用する保護者にあまり関係のないようだ。
- ・財源に注目されているが、保育園は保護者のニーズにあっているかどうかが重要だ。今と同じ運営が行われるのであれば保護者にとってメリットはない。
- ・保育園は学区がなく、保護者が自由に選ぶわけなので、民営化する際に保護者に対するメリットを出さないといけない。
- ・保育サービスの種類や量を充実させても保育の質が落ちないようにしていただきたい。

#### 2 民営化の課題について

- ・市として今後の幼児教育をどうするのか、その方針を明らかにしてもらったほうが民営化について説明しやすいものと思う。
- ・全ての園を民営化するとなれば、それが国の方針とはいえ、市が保育を手放したというイメージがある。理解を得ることは難しいだろう。
- ・単純に今ある所を民営化するだけなら、利用者から不満が出るだろう。

#### 3 民営化の進め方について

- ・魚沼で子育てをしたいと感じてもらえるようなものにしていただきたい。
- ・私立保育園について、市が管理しているということをきちんと説明していく必要がある。
- ・これまで何回かの会議をとおして、色々な説明を聞かせてもらった。親の立場からすれば、こうした丁寧な説明を聞く事で不安が取り除かれるものと思う。

#### 4 民営化の実施内容について

##### (1) 民営化する保育園等の選定について

- ・規模の小さいところを実証実験として対象とするのか、規模の大きいところを本格的に対象とするのか、基本的な考え方で全くかわってくる。
- ・小出地区は公立保育園が 3 つある。一園を民営化し、まずは評価検証を行うと言う考え方もある。
- ・小出地区で選定してほしい。小出地区は複数の公立保育園があるほか、古くから私立保育園、私立幼稚園があるため地域的に抵抗感が少ないのではないかと。

- ・小出地区は既に私立保育園があるからやりにくいという意見もあるのではないかな。
- ・広神地区にも2つの保育園がある。
- ・運営する立場からすれば、つくし保育園や堀之内なかよし保育園の規模が大きいため運営しやすいかもしれない。
- ・遠隔地や小規模な保育園の民営化は難しいと考える。
- ・この会議の場などで私立保育園が意見を述べる機会を設ける考えはあるか。いいところや悪いところがあると思うが、すり合わせがなくてよいか。合併なども含めて自由に絵を書く部分があっても良いのではないかな。

#### (4) 移管先法人の募集条件、選定基準について

- ・公募で手が挙がりやすくなるように条件を整備して公募に出す必要がある。
- ・他市では施設の建て替えを条件に加えて民営化しているケースもあると聞くと、条件が多くなればなるほど、応募のハードルが上がることになるので、条件については精査が必要だ。

#### (5) 民営化後の市の関与について

- ・民営化後も市がしっかりと保育に対する義務を果たし、質の低下を招かないようチェック機能を果たすべきだ。
- ・保育士については、研修会や勉強会への参加も大切になる。民営化しても、しっかりとその部分に対応してもらいたい。
- ・保育園を民営化した場合であっても、送迎バス利用者に新たな負担が生じるようなことはないように対応いただきたい。

#### (6) 職員の処遇について

- ・民営化を契機に保育士が正規になればよいことだと思う。受け手が他所から保育士を連れてくるようだと、現在の非常勤職員は職を奪われることになる。こうしたことを選定条件に入れる事で、現在勤めている方が職を奪われることがないように対応していくことも一つの方法だ。
- ・職員の処遇で保育士の仕事に正規がなくなるようだと困るので、民営化で保育士の就労が安定するなら民営化も良いのではないかなと思う。
- ・民営化により働いている人の職を奪うのではなく、民営化により今働いている人が良くなるように考えていかなければならない。